「景観」」には? 山形県景観条例に基づく景観を活用した地域づくりの取組み

- ■道路や鉄道、河川に沿った一体の地域を、『景観』に関わる共通のテーマで結びつけたものを 「景観回廊」と呼びます。
- ●山形県内には素晴らしい景観資源が数多くありますが、まだ充分に活用されているとは言えず それらが点在しているような状況になっています。
- ●そこで、共通のテーマにより景観資源や地域同士をつないで、連携した活動やPR等を行なっていくことで、人々の交流を活発化し、景観回廊の区域全体を元気にしていこうとする制度です。

◆進め方のイメージ◆

- ・多くの人に来てもらいたい
- ・地域の魅力を生かした地域づくりをしたい。
- ・近隣の地域と一緒に 取り組んだほうが より効果的なのでは?
- ・地域同士を共通のテーマで \ 結び、**景観回廊の区域**を設定
- ・地域の活動団体、市町村及び 県で**「景観回廊会議」**をつくり、 地域おこしに向けた話し合い。
- ・地域の魅力や課題を共有。
- ・各地域の魅力を向上 させる取組みや、各地域が連携 して行なえる取組みの活動計画 をたてる。
 - ・計画に沿った活動の実施。
 - ・地域活動の継続、
 - 担い手の育成。
- ・地域活動が円滑に進むように、 行政(県・市町村)の各分野で 組織する「景観回廊支援チーム」 がアドバイス等を行なう。
- ・区域内の公共事業も、景観回廊の 共通テーマを意識して進める。

・必要に応じて専門家 (大学、旅行業者等) とも連携していく。

景観回廊の区域【参考例】

共通テーマ「桜が見守る風景」

・舟運で出荷された青苧で作ったコースターを農家レストラン等で使用する。青苧と地域の関係を説明したカードを店に置いてPRする等。

・舟運の歴史と、現在 街なかに残る面影の関 係性を説明する看板を 設置し、観光ルートに 位置づける。

◇◇地区・個別テーマ

「舟運文化が見える街」

◇◇地区

〇〇地区

- ・桜の古木を添景とし、水田越しに水路の水の供給源である山並みを眺められる場所を整備して、県に「眺望景観資産」に指定してもらう。
- ・近代建築をめぐる 観光ルート沿いの植栽帯 や住宅の庭を花で飾り、桜 に関連させて、花の雰囲 気を感じながら街中をめぐ れるようにする。

- ・桜の古木付近を通過 するときに、地域の桜に まつわるストーリーを車 内アナウンスで流す 等。
- ・各地域で行なわれている個別の活動を、景観回廊会議で連携・協働の調整をし、相乗的な魅力の向上を図る。